

2023年10月22日（日）

「神戸学院大学 現代社会学部開設 10周年」 祝辞

ただいまご紹介にあずかりました、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長の永野康行です。本日、神戸学院大学現代社会学部が開設 10周年を迎えられ、ここに多くの皆様方ご出席のもと、記念式典が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

私たち県立大学大学院減災復興政策研究科は、防災・減災に関する多くの分野・多機能にわたる機関が集積する神戸市の東部新都心として開発された「HAT神戸」の地において、独立した大学院として2017年4月に開設され、7年目に入っています。この研究科では、阪神・淡路大震災等の教訓を踏まえ、減災復興学の構築を目指した「災害科学」「減災コミュニケーション」「減災復興ガバナンス」の3つの領域からなる教育研究を推進しているところです。

行政はもとより企業、学校、NPO、コミュニティ、ボランティア等多様な主体が蓄積した教訓や知見を学問的に体系化するとともに、減災と復興を表裏一体的なものとして捉え、既存の学問を分野横断的に組み合わせることにより、減災復興学にかかる教育研究を展開しています。

これにより、減災復興学に関する研究、施策の立案や実施、危機管理の実践、地域や学校での防災教育、多様な主体のコーディネート等の取り組みをリードする人材を育成するとともにネットワーク化を図り、各主体の連携を推進することで、災害に強い社会づくりに貢献し、防災・減災に対する素養を持ち様々なフィールドで活躍する人材を育成してきています。

貴学部では、グローバルな視野と社会貢献マインドの育成を図りながら、理論と実践双方で得られた知恵を地域の中で応用・展開できる人材育成をなされ、多くの優秀な卒業生達を世に送り出されていることと存じます。

現在、貴学部を卒業された学生が、当研究科博士前期課程に3名在籍し、学部時代に身につけられた理論と実践力を元に、素晴らしい修士研究に取り組まれています。来年度も推薦入試に合格され入学を予定いただいている学生さん達は、学部で卒業研究に熱心に取り組まれていることでしょう。ポートアイランドとHAT神戸は距離も近いことから、今後も連携を密にし、防災・減災に資する人材育成を共に取り組んでいけたらと思います。

今後30年、50年、100年と皆様方の益々の発展と現代社会学部の発展、同時に神戸学院大学の発展につながっていくことを祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。